

## 日本初、新造グリーンメタノールコンテナ船の命名式が開催されました

マースク A S<sup>\*</sup> (Vincent Clerc CEO) のグリーンメタノール燃料コンテナ船が、横浜港に初めて入港し、本日命名式が執り行われました。約 16,000 個積みの超大型グリーンメタノールコンテナ船の命名式は 1 月 26 日に実施された韓国に続き世界で 2 番目で、日本では初めて実施されました。

命名式では、Godmother (日産自動車株式会社 内田誠社長夫人) により、「Astrid Maersk (アストリッド・マースク)」と命名されました。

横浜市から山中 竹春 横浜市長、横浜市会の福島 直子 副議長等が出席し、市長から船長へ命名を祝する記念楯を贈呈しました。

横浜市は、2050 年の脱炭素社会の実現を目指しカーボンニュートラルポートの形成を進めており、昨年 12 月にマースク A S と三菱ガス化学株式会社とグリーンメタノールの横浜港における燃料供給の実施等の利用促進を目的に覚書を締結しました。

今後も、横浜港が日本初のグリーンメタノール供給拠点となるように、脱炭素化の推進に取り組んでいきます。

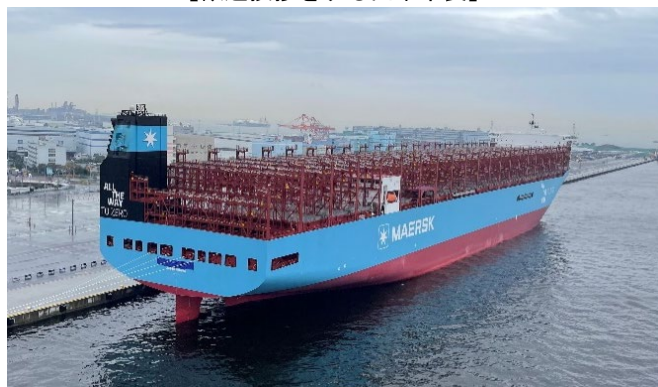
※ A S はデンマーク語で株式会社の意味



【歓迎挨拶をする山中市長】



【命名式の様子・左から 2 番目が山中市長、右から 5 番目が Vincent Clerc CEO】



【Astrid Maersk】

### 【本船詳細】

本 船	名 : Astrid Maersk
船	籍 : デンマーク
総 ト ン	数 : 167,090 G/T
最大コンテナ積載数	: 16,200 TEU
全	長 : 349.2 m
船	幅 : 53.5 m

### お問合せ先

横浜市港湾局 港湾物流部 物流運営課長 鹿志村 兼貴 Tel 045-671-2873